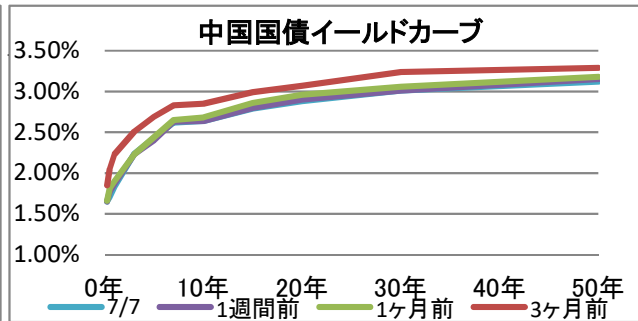
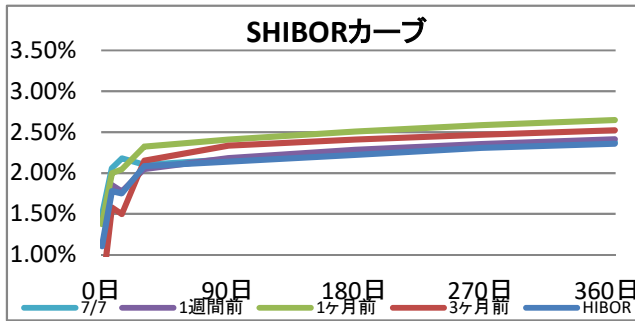


基準レート		2023/7/7	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.2054	-0.0204
	JPY/CNY	5.0303	+0.0209
SHIBOR	3M	2.1380%	-0.0300%
国債利回り	10年	2.64%	+0.00%
上海総合指数		3,196.61	-6.95



(1) 概況

国際金融市場では、中国景気の先行き警戒感が高まる一方で、FOMC議事要旨での複数参加者の利上げ支持や米雇用統計での賃金上昇の高止まりから金融引締め長期化への警戒感も高まり、株価は下落し、債券利回りは上昇。為替市場では、米雇用統計を受けて、過度の金融引き締め懸念後退等により、ドル安に転じている。

中国金融市場では、財新PMIの悪化や中国の半導体素材輸出の厳格化等による米中摩擦激化等が嫌気され、政府から具体的な景気刺激策が示されないことも手伝って株価は続落し、3200の大台を割り込んで週末を迎えた。債券市場では景気悪化懸念と景気刺激策への期待が拮抗し、ほぼ横這いで推移。為替市場では、景気減速懸念や米中金利差拡大等の元安要因が多いものの、元高設定を含め当局への牽制に対する警戒感や米雇用統計を控えて元安進行は一服。

中国では、習主席が江蘇省ハイテク製造地域を視察し、イノベーション促進と高度な技術的自立実現の必要性を強調し、李強総理は経済情勢座談会で、経済政策についての視察を、より効果を発揮できる措置を適時発動する方針を示し、イエレン米財務長官との会談で、米中間の経済利益は緊密で協力強化が正しい選択と強調し、何立峰副総理は、米財務長官と協力強化等で合意。人民銀行等は、アリババ傘下のアント・グループ等に対して罰金を科し、プラットフォーム企業金融事業の課題是正を終え通常の監督体制に移行すると発表し、6周年を迎えたボンドコネクティブに関して、レポ取引可能化やリスクヘッジツールの改善等の検討方針を示した。証監会は、香港との間のREITコネクティブを研究する方針や、債券発行の登録制改革等を受けた「会計事務所の証券サービス業務に従事する際の情報開示に関する規定」を公表し、ファンド会社の公募ファンド管理手数料等の引下げを促す方針を示した。商務部は半導体材料の輸出管理を強化。この間、中国大手国有銀行によるドル預金金利の更なる引き下げや中国投資家による香港ドル預金増加や保険購入増加等を通じた資金流出に関する報道があった。また、日中関係では、李強総理が、河野洋平・国貿協会会長と会談し、「中国は質の高い発展や高水準の開放を推進し、日系企業の対中投資拡大を支援していく」と強調し、商務部長はサプライチェーンの安定維持等への期待を示し、王毅政治局員は、日中韓国際フォーラムで首脳会談再開への前向きな対応を呼びかけた。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日11,690億元に対して、リバースオペ130億元を実施し、ネット11,560億元を吸収。

(3) 主な経済指標

・財新PMI (6月) は、製造業が50.5 (4月、50.9) と2カ月連続で分岐点50を上回ったが、生産や新規受注の弱さや雇用悪化を背景に前月比低下し、サービス業も53.9 (4月、57.1) とゼロコロナ措置撤廃後のサービス企業活動の回復が鈍化。この結果、総合でも52.5 (4月、55.6) と前月比低下した。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1040%	1.1200%	1.6500%	
1W	1.7790%	1.7500%	1.8000%	
2W	1.7520%	2.4500%	1.9500%	1.6500%
1M	2.0840%	2.1000%	2.2000%	1.9500%
3M	2.1380%	2.6000%	2.1500%	2.0600%
6M	2.2210%	3.0000%		2.2100%
9M	2.3070%	3.6500%		2.2800%
12M	2.3600%	4.0500%	2.4000%	2.3000%

四半期末要因の剥落によりターム物の金利水準は短期を中心に大きく低下しており、1ヶ月が2.1%前後を中心に当たっている。

NCDの金利水準も、四半期末要因の剥落により1ヶ月を中心に金利水準が低下しており、ターム物は、1ヶ月が1.9%台後半、3ヶ月が2.05%前後、6ヶ月が2.2%前後、1年が2.3%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.25%	5.29%
1W	5.40%	5.45%
1M	5.60%	5.65%
3M	5.65%	5.75%
6M	5.70%	5.75%
12M	5.70%	5.75%

中国国内市場では、米FOMC議事要旨や一部雇用指標の改善により米ドル金利の上昇懸念が高まり、ビッドしっかりの状況に変化はないものの、金利水準は既に金融引締めを織り込んでいることから大きく上昇することはなく、ターム物は、1ヶ月が5.6%台、3ヶ月が5.7%台で取引引きされている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.65%		2.13%	2.16%	2.35%
6M	1.70%		2.21%	2.26%	2.45%
1Y	1.83%	2.03%	2.30%	2.43%	2.65%
3Y	2.24%	2.38%	2.59%	2.73%	3.35%
5Y	2.43%	2.56%	2.76%	3.01%	3.70%
10Y	2.64%	2.88%	3.03%	3.30%	4.06%

米国債券市場では、週半ばにFOMC議事要旨で複数参加者が利上げを支持していたことが確認され、ADP前米雇用報告での雇用者数急増が確認されると利回りが大きく反騰し、その後の雇用統計でも失業率低下や堅調な賃金上昇率が確認されると一段と利回りが上昇する展開となった。中国債券市場では、四半期末要因の剥落に加えて財新PMIの低下による景気先行き懸念から利回りは低下傾向となったが、政府の景気刺激策への期待（懸念）も根強く、上値の重い（利回りが下げ渋る）展開が続いている。この結果、米国の10年国債利回りは4.06%（前週比+22bp）に上昇する一方、10年中国国債利回りは2.64%（同、±0bp）で変わらずとなったことから、利回り差は+142bp（同+22bp）に更に拡大している。

中国債券のイールドカーブは、全体的に低下に転じる中、四半期末要因の剥落や景気刺激策への期待から中期までの利回りが相対的に大きく低下するスティープニング化が進んでいる。クレジットスプレッドは、信用債利回りの低下を主因に縮小に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-236.9 / -235.5
3M	-725.0 / -717.0
6M	-1423.0 / -1416.0
9M	-2051.0 / -2038.0
12M	-2600.0 / -2591.0

対ドル基準レートは7.2054と前週末比-204pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0303と同+209pipsの円高元安と、市場での対ドルでの元安に対して元高方向での設定が続いた。中国国内市場では、基準レートの元高設定や大手国有銀行のドル預金金利引き下げ等により元高に振れては戻す展開が続いていたものの、米雇用統計を控えていることもあり、徐々に上値が重くなり、7.23台で週末を迎えている。

先物は、米ドル金利上昇懸念が高まり、7月に入り人民元金利が四半期末要因の剥落により低下したことから、マイナス幅が拡大しやすい状況と思われたが、直物市場で元安傾向が続き、米雇用統計を控えていること等もあって、マイナス幅は縮小し、1年物は-2600を挟んだ狭いレンジ内での取引が続いた。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.97%		1.63%
6M	1.99%	2.14%	1.45%
9M	2.00%	2.16%	1.45%
1Y	2.02%	2.21%	1.59%
3Y	2.24%	2.48%	1.98%
5Y	2.45%	2.76%	
7Y	2.59%	2.91%	
10Y	2.71%	3.02%	

スワップ金利は、動意なく、概ね前週末水準での取引が続いており、債券利回りとの差であるスワップスプレッドは債券利回りの低下により小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。